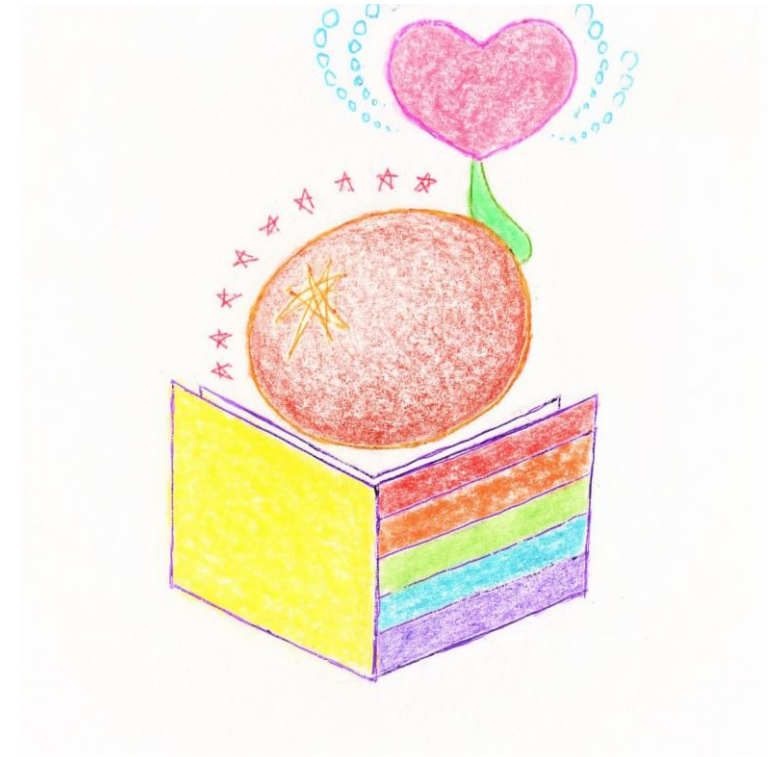


え～ほん 絵の本ひろばここやねん

＝市民活動応援補助金 活動報告＝

2018～2019

活動の一部を紹介



初めての絵本ひろば 2018/3/8 長岡京市バンビオ 親子で絵本講座

初めての絵の本ひろばは、下見無しでの準備。
面展台の置き方が悪くて、倒れることがあり、反省。
まだ、絵本だけで、写真本、料理本はありません。



恵文社での絵の本ひろば 2018/4/29

京都市左京区にある恵文社本店のイベントで、奥にあるコテージのスペースを使わせていただきました。

藤森神社手作り市① 2018/4/15



京都市伏見区にある藤森神社では月に一回、開催される手作り市。
雨模様だったので、拝殿の上での絵本ひろば。
拝殿の下では、工作コーナー。



藤森神社手作り市② 2018/10/28



2回目の藤森神社手作り市。
写真本『動物たちの惑星』に気がついて、年配の男性が
声をかけてくれました。

きりしま保育園での絵の本ひろば 2018/5/31



面展台が、3台だけだったので、カラー積み木や椅子を利用して、絵本を並べました。
。



公民館市民企画講座での絵の本ひろば 2018/6/26



部屋の広さを考えて、参加人数を設定しました。
申し込みが多かったのも、秋には、
午前と午後の2回の講座にしました。



え～ほん絵の本ひろば ここやねん in 京北 2019/8/31



京都市左京区京北町で、子育て中の絵本大好きな仲間からの要望で、やろうとなった絵の本ひろば。

絵の本ひろばの仲間も、準備から手伝ってくれました。
ひろばの運営を手伝ってくれる人、参加してくれる人・・・

ひろばは、人と人がつながってこそ、居心地の良い場所になります。笑顔の輪が自然と広がります。



広い畳の上で、座り込んだり、寝転がったり・・・ひとりで・・・友達同士で・・・
親子で・・・
それぞれの楽しみ方で ゆっくり、ゆったり 過ごしました。



公民館市民企画講座での絵の本ひろば 2019/11/6



昨年と違ったところは、男女参画講座ということで、男性の参加もありました。ひろばの入り口に、表紙カバーでお迎え。面展台も20台並び、写真本、料理本・・・絵本だけでなく、絵の本が増えてきました。

『え～本絵の本ここやねん』の仲間3名と、職場体験の中学生3名も手伝ってくれて、良い交流ができました。





始まりの時に、絵の本ひろばは、絵本だけではなく。
写真本、レシピ本、いろいろ、いろいろ・・・ありますよ～。
そんなことを伝えるのに、みんなの前で読ませてもらいました。

親子で参加している方に、子ども達に選ばせてあげてね。ダメとか、これが良いんじゃないとかの、禁止や指示は、この時間はしないようにしてあげてねって、お願いして、あとは好きに絵の本をみてもらいました。



自分が読んでもらって、満足した男の子。
出会った赤ちゃんに、お気に入りの絵本を読んで
あげていました。



※絵の本ひろばに思うこと・・・

本や絵本が無くても、子どもは育ちます。大人も、生きていけます。

『Sense o f W a n d e r 』 神秘さや不思議さに目をみはる感性を持ち続けること

レイチェル・カーソンという海洋学者が1656年書いたエッセーの中で、
『知ることは、感じる子との半分も重要ではない』と、 書いています。

これは、なんだろう？ 不思議だな？

楽しいことにドキドキ、ワクワクする気持ちは、それを感じることは、
子ども達の育ちに不可欠だと思います。

それは、絵の本を、楽しむ中でも経験できることです。

絵本は、子ども達が、世の中は楽しいことが一杯だと感じられる、ひとつのツール。

『絵の本ひろば』で、大人も子どもも、絵本をツールとした心の交流、ことばのやりとりを

楽しんでほしいと思います。